

森ビルの都市づくりを次代につなぐ、書籍2冊同時発刊

建築画報「森ビルの挑戦」 新建築「麻布台ヒルズが拓く都市の未来」

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長 辻慎吾)の「都市づくりの挑戦の歴史」ならびに「麻布台ヒルズ開業までの軌跡」を取りまとめた書籍2冊が、建築画報社および新建築社から同時発刊されました。

「森ビルの挑戦の歴史」に迫る『建築画報』

ヒルズに通底する思想を明らかにし、これからの未来に求められる「都市」の在り方を提起する一冊です。

アークヒルズ、愛宕グリーンヒルズ、六本木ヒルズ、表参道ヒルズから、近年開業した麻布台ヒルズや虎ノ門ヒルズに至るまで、森ビルの都市づくりの挑戦の歴史に加え、これらのヒルズの魅力を、働く、住むといった人々の「営み」の「場」と、タウンマネジメントや環境、ウェルネスなど「営み」を支える「仕掛け」という2つの切り口から紹介します。

建築画報 vol.63『森ビルの挑戦 vol.2』

発行・編集: 株式会社建築画報社

発行日: 2026年3月30日

体裁: A4 変形判、145頁オールカラー

定価: 4,180円(税込)



「麻布台ヒルズの軌跡」を紐解く『新建築』

「ヒルズの未来形」として、森ビルが35年超の年月をかけて開発した「麻布台ヒルズ」の全てを記録し、紹介する一冊です。

グラビアや図版を多用し、プロジェクトの概要から地域住民との対話、開発経緯をはじめ、オフィス、住宅、商業施設、文化施設、ホテル、インターナショナルスクール、予防医療センターなどの多様な都市機能や、街を支える最新テクノロジーや施工技術まで、「麻布台ヒルズ」の全貌を明らかにします。

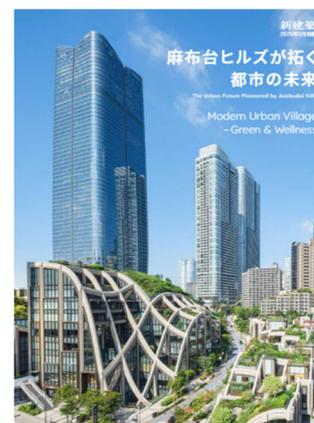
新建築 3月別冊『麻布台ヒルズが拓く都市の未来』

発行・編集: 株式会社新建築社

発行日: 2026年3月30日

体裁: A4 変形判、240頁オールカラー 日英併記

定価: 4,000円(税込)



当社は、引き続き「都市を創り、都市を育む」の理念のもと、都市に広がる無限の可能性に挑戦し、未来を切り拓いてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室

TEL: 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

「森ビルの挑戦の歴史」に迫る『建築画報』

<内容・構成>

■ 第1章 都市の可能性 (Urban Potential)

巻頭では、森ビル株式会社 代表取締役社長・辻慎吾のインタビューを収録。都市に広がる無限の可能性への挑戦と、東京が直面する国際都市間競争の現状について、トップの視点から語ります。

■ 第2章 森ビルのつくる都市 (A City Actively Shaped by Mori Building)

「アークヒルズ」「表参道ヒルズ」「六本木ヒルズ」、そして最新の「麻布台ヒルズ」「虎ノ門ヒルズ」に至るまで、世界から超一流の才能を束ねて創り上げてきた「ヒルズ」の系譜と各プロジェクトの全貌を紹介します。

■ 第3章 営みの場 (A Place for Life's Rhythms)

都市を構成する要素を「Work (働く)」「Live (住む)」「Retail (商業)」「Culture & Art (文化・アート)」の4つの視点から掘り下げます。イノベーションを育む環境づくりや、ヒルズに住むという唯一無二の価値、街の国際競争力を高める文化施設の役割に迫ります。

■ 第4章 営みを支える仕掛け (A Framework Supporting Urban Life)

都市における様々な営みを裏で支える仕組みを解説します。交流を生むタウンマネジメント、ウェルネス、環境・緑化への取り組みのほか、都市のレジリエンスを高める制振・エネルギー技術、持続的な管理運営やインフラ構築まで、森ビルの見えないこだわりを解き明かします。

■ 第5章 森ビルの次なる挑戦 (Mori Building's Next Challenge)

ヒルズがつながり、都市がさらに進化していく未来へ向けた次なる挑戦として、「六本木5丁目プロジェクト」などの今後の展望を描きます。



建築画報 vol.63

『森ビルの挑戦 vol.2 - To Stand at a New Frontier -』

発行・編集: 株式会社建築画報社

発行日: 2026年3月30日

体裁: A4変形判、145頁オールカラー

定価: 4,180円(税込)

「麻布台ヒルズの軌跡」を紐解く『新建築』

<内容・構成>

■ Interview

巻頭の森ビル株式会社 代表取締役社長・辻慎吾のインタビュー。国際都市間競争と首都・東京の磁力、麻布台ヒルズのコンセプトに Green & Wellness を掲げた理由や、ヒルズをつなぐことへの展望などについて、トップ自ら語ります。

■ 都市を創るプロセス

「Modern Urban Village」が形になるまでの軌跡を詳解します。長年にわたる地元交渉の歩みから、谷の記憶と共に街を再生した都市計画、そしてマスタープラン・コンセプトワークに至るまで、都市開発の深層に迫ります。

■ 都市を育む機能と営み

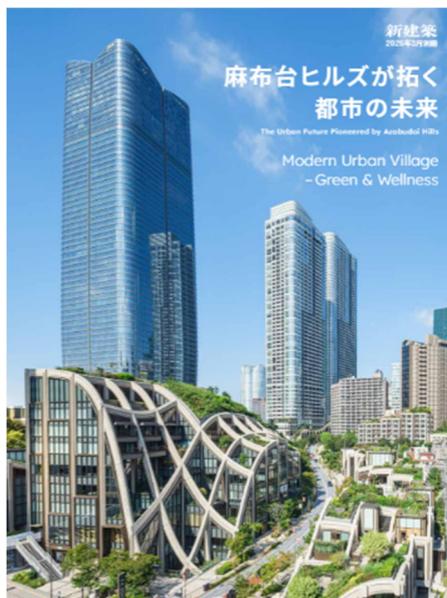
街の中心となる「中央広場」や「果樹園・菜園」をはじめ、「慶應義塾大学予防医療センター」でのウェルネスの実践や、「ブリティッシュ・スクール・イン 東京」など、様々な都市機能を紹介。さらに、「麻布台ヒルズ マーケット」や「森ビル デジタルアートミュージアム：エプソン チームラボボーダレス」から、多様化するオフィスや「Tokyo Venture Capital Hub」まで、多様な用途と人々の営みをコラムなどもまじえて多角的に紹介します。

■ 都市を支える基盤と技術

街を根底で支える最先端のエネルギーシステムや防災システム、環境評価の取得、照明・サイン・セキュリティ計画を解説します。さらに、森 JP タワーやガーデンプラザの高度な施工技術、土木工事の実態など、建築専門誌ならではの視点でプロジェクトの裏側を解剖します。

■ ヒルズの変遷と六本木 5 丁目プロジェクト

巻末では、これまでの「ヒルズの変遷」をデータと共に振り返りつつ、現在進行中の「六本木 5 丁目プロジェクト」へと連なる、森ビルの絶え間ない都市づくりへの挑戦を記録しています。



新建築 3月別冊『麻布台ヒルズが拓く都市の未来』

発行・編集: 株式会社新建築社

発行日: 2026年3月30日

体裁: A4変型判、240頁オールカラー 日英併記

定価: 4,000円(税込)